

トヨタ、カリーナおよびセリカを

六年八ヶ月ぶりにフルモデルチェンジ

二十九車型はトヨタTGP燃焼方式により
五十三年度排出ガス規制に適合

トヨタ自動車工業㈱、トヨタ自動車販売㈱は、小型車カリーナシリーズおよびセリカシリーズをフルモデルチェンジするとともに、一部車型にトヨタTGP燃焼方式により五十三年度排出ガス規制に適合させた12T-U型（一、五八八cc）エンジンを搭載して、八月二十二日より全国一斉に発売する。両シリーズのフルモデルチェンジは昭和四十五年十二月の発売以来初めてのことである（カリーナハードトップは昭和四十七年十二月、セリカリフトバックは昭和四十八年四月、カリーナバンは昭和五十年十二月にそれぞれ追加発売）。

今回、発売するカリーナおよびセリカは、その開発にあたり排出ガス規制への適合、安全対策の充実、省資源、省エネルギー等の社会的要請に応えることはもとより、「高品質・高性能」をテーマに、走行性能、居住性、操作性など、本来、車に要求される機能のいっそうの向上を図った。



カリーナ 4ドア セダン 2000 SE (B-RA40-AEMES) '77.8



セリカ リフトバック 2000 GT (C-RA40-BLMQG) '77.8
アルミホイール、14インチ スチールラジアルタイヤ、は注文装備

カリーナについては、その設計の狙いを「アクティブなファミリーカー」とし、幅広い層に受け入れられるよう、軽快さと俊敏さを強調してスッキリと引きしまったスタイルとした。また、装備、車種体系の充実を図り需要の多様化に応えた。

カリーナバンはリヤクォーターウィンドウを大きくとり、明るいデザインとするとともに広い荷室を持たせ積載能力の向上を図った。

セリカは、その設計の狙いを「より個性的なスペシャルティーカー」とし、大胆さと斬新さを盛り込み、空気力学を追求した合理的なスタイルとともに、ユーティリティースペースを拡大して多用途に適したスペシャルティーカーとした。

また、今回発売するカリーナおよびセリカのうち、カリーナ一五車型（セダン九車型、ハードトップ六車型）、セリカ一四車型（クーペ八車型、リフトバック六車型）の合計二九車型はトヨタTGP燃焼方式により五十三年度排出ガス規制に適合する12T-IU型（一、五八八cc）エンジンを搭載している。このトヨタTGP燃焼方式は、従来のトヨタ希薄燃焼方式とトヨタ触媒方式の長所をあわせ持つた新たな排出ガス浄化方式で、12T型（一、五八八cc）エンジンを基本に空燃比を最適々合させ、排気ガス再循環装置（EGRシステム）、二次空気導入装置、酸化触媒コンバータおよび強力点火装置を組み合わせたものである。

この方式は第一に、燃焼室内にあるTGP（Turbulence Generating Pot－乱流生成ポット）から噴出される火炎噴流により急速な燃焼を行なうのでNO_xの発生量が少ないと、第二に、多量のEGRを使用しても、また混合気を希薄にした場合でも着火と燃焼が安定している、という二つの大きな特性を持つおり、これらの特性を生かして燃焼室内においてNO_xの発生を大幅に低減している。CO、HCについては、信頼性・耐久性に優れた酸化触媒コンバーターによって浄化を行なっている。

また、この方式は種々の運転条件のもとで空燃比を最適に精密制御するほか、点火時期の最適々合等を行なうため燃費・ドライバビリティーの点でも優れてい る。

今回のカリーナ、セリカの発売によりトヨタの五十三年度排出ガス規制適合車は、先に発売したトヨタの三元触媒方式によるクラウン、マークII、チェイサーおよびトヨタTGP燃焼方式によるコロナ、カローラ、スプリンターとあわせて八車種・一二九車型となつた。

カリーナ、セリカ乗用車シリーズの搭載エンジンは五十三年度排出ガス規制に適合した12T-IU型のほか、トヨタ触媒方式により五十一年度排出ガス規制に適合した2T-I-G-E-U型（一、五八八cc、DOHC、EFI+電子制御式燃料噴射装置付）、3T-I-U型（一、七七〇cc）、18R-I-U型（一、九六八cc）、18R-I-G-U型

(一、九六八cc、DOHC) の合計五機種がある。なお、これらのうち 2TIGE U型エンジンは両車種に、また 3TU型エンジンはセリカに、18R-U型エンジンはカリーナに、それぞれ新たに搭載したものである。また、カリーナバンの搭載エンジンには T-IJ 型 (一、四〇七cc)、2T-IJ 型 (一、五八八cc) の二機種がある。

さらに、小型車市場の中でも高まりつつある上級車志向に対応するため、両車種に高級グレード「SE」を、セリカに「XT」グレードをそれぞれ新設するなど車種体系の充実を図った。

この結果カリーナは二ドアセダン三車型、四ドアセダン二七車型、ハートトップ二八車型、バン七車型の合計六五車型、セリカはクーペ三三車型、リフトバック三一車型の合計六四車型となつた。

両車種の当面の国内月販目標はカリーナシリーズ一八〇〇台 (セダン六〇〇〇台、ハートトップ六〇〇〇台、バン三〇〇〇台)、セリカシリーズ六〇〇〇台 (クーペ五〇〇〇台、リフトバック四〇〇〇台) である。そのうち五十三年度排出ガス規制適合車はカリーナ六〇〇〇台、セリカ三〇〇〇台を見込んでいる。

カリーナおよびセリカの車両概要、排出ガスデータ、燃費性能、車種体系、価格および主要諸元は別紙のとおりである。

以上

一、スタイルの一新

(1) ボディスタイルは直線を基本に軽快さ・俊敏さを強調してスクエリと引きしまったものとした。

(2) 車両寸法は従来のカリーナと比較して全長で一〇mm、全幅で三五mm大きくなった。

(3) ベルトラインを従来より低くし大きなサイドウインドウを採用すると同時に、計器盤の上面を思い切って下げフロントウインドウを拡大し、明るく視界の良い開放的なスタイルとした。

(4) 室内は明るさと手ざわりの良さを重視した洗練された内装とし、ライトブラウン、ブルー、ブラックの三色で、カラーコーディネーションを行なつた。

(5) パンはリヤクォーターウィンドウを大きくとり明るいデザインとした。また、車両寸法は全長で六五mm(スルバーデラックスは八五mm)、全幅で三五mm大きくするとともに、リヤオーバーハングを六〇mm(同七〇mm)長くして荷室を拡大することなどにより、最大積載量を四〇〇kgから五〇〇kg(二名乗車時)に増やした。

二、居住性・操作性の向上

(1) 居住性

- ① 室内長を五mm(ハードトップは一五mm)、室内幅を二五mm(同五mm)、とくにショルダー部での室内幅は六〇mm(同五〇mm)それぞれ拡大した。
- ② 車室内に頭寒足熱の暖房を行なうバイレベル機構のヒーターを全車型に採用したほか、ヒーターリヤダクトの採用車型を増やす(デラックス以上)など、空調システムを改良した。とくにハードトップについてはアストロベンチレーションを採用して車室内の通風・換気効率の向上を図った。

- ③ フロントシートは肩を下げたローバックシートとし、さらに一部車型にはヘッドレスト分離式フロントシートを採用した(スルバーデラックス以上)。

- ④ 長時間運転の際の腰部の疲労軽減を図るために、運転席にランバーサポートアジャスター付シートを一部車型に採用した(SE、GT)。

- ⑤ 足まわりについては従来から定評のあるものを、さらに改良すると同時に、走行安定性をいつそう向上させるため、リヤスタビライザーを一

部車型に採用した（G T、S R）。

操作性

- (1) ドライバーの体格・姿勢に応じて、より適切な位置で運転できるように運転席の前部を上下に調整できる上下アジャスター付シートを一部車型に採用した（S E、G T）。
- (2) 無調整式クラッチレリーズシリンドラーを採用し、クラッチのメンテナンスフリー化を図るとともにクラッチペダルの踏力を軽減した。
- (3) 低ギヤ比のステアリングギヤを一部車型に採用し、ハンドルの切れをシャープにした（G T、S R）。

静肃性

- (1) エンジンルームと室内の間の遮音材を増やし室内の静肃性を向上させた。

- (2) 高速走行中やエンジンの温度の低い時には、冷却ファンの回転数を少なくして騒音を低減する、温度制御型流体繼手ファンの採用を拡大した。

装備の充実

- (1) 運転席から、トランクを開けることのできるトランクオープナー！や、燃料注入口を開けることのできるフューエルリッドオープナーを乗用車の一部車型に採用した（一八〇〇デラックス、一六〇〇スーパーデラックスタス以上）。
- (2) 電動リモートコントロール式フェンダーミラーを一部車型に採用した（S E、G Tおよび一八〇〇スーパーデラックス、S T）。
- (3) 水晶時計を一部車型に採用した（スーパーデラックス以上、ただしS Rを除く）。
- (4) 上方からの強い日差しを和らげるフロントぼかしガラスを一部車型に採用した（S E、G T）。
- (5) 乗用車の燃料タンクを床下吊り下げ式にしてトランクスペースを大幅に拡大するとともに、燃料タンク容量を五八から六一㍑にした。また一部車型についてはトランクルームに内張りを施した（デラックス以上）。

排出ガス対策

- (1) 12T-I U型（一、五八八cc）エンジン搭載車一五車型（セダン九車型、ハードトップ六車型）をトヨタT G P燃焼方式により五十三年度排出ガス規制に適合させた。
- (2) 2T-I G E U型（一、五八八cc、DOHC、EFI+電子制御式燃料噴射

装置一付)、3T-U型(一、七七〇cc)、18R-IU型(一、九六八cc)、
18R-IGU型(一、九六八cc、DOHC)の各エンジン搭載車は、いずれも
トヨタ触媒方式により五十一年度排出ガス規制に適合させたものである。

四、安全対策

(1) ウィンドウ面積を拡大して全方向により広い視界を確保した。

(2) 前席にELR(エマージェンシー・ロッキング・リトラクター)付シリ
トベルトを採用した。このELRは通常の使用時は伸縮自在で束縛感が少
なく、緊急時にのみロック機構が作動する装置である。

(3) 間けつワイパー(一八〇〇デラックス、一六〇〇スーパー・デラックス以
上)やサイドデフロスター(全車型)の採用により、雨天時の運転操作性
および防曇機能を優れたものとした。またワイパー部分に光の反射を防ぐ
黒色塗装を施した。

(4) 四ドアセダンのリヤドアにチャイルドブルーフを採用した。これはチャ
イルドブルーフノブをロック状態にしてリヤドアを閉めた時、内側からドア
が開かないようにしたものである。

(5) 四輪ディスクブレーキを一部車型に採用した(GT)。

五、省資源・省エネルギー対策

(1) ボディ構造を含む各部の合理的な設計により、車両寸法の拡大にもかかわ
らず三五kgから五五kg(バンは五五kgから七〇kg)軽量化した。

(2) 点火時期の最適々合、空燃比の精密制御などにより、12T-U型
エンジン搭載車は優れた燃費性能を確保した。

二、スタイルの一新

(1) 上下左右方向に丸みをもつた三次曲面サイドウインドウガラスでキャビンを構成し、空気力学を追求したラインを基本に、大胆さと斬新さを盛り込んだ個性的なスタイルとした。

(2) 車両寸法は従来のセリカと比較して全長で五〇mm(リフトバックは七〇mm)、全幅で一五mm拡大した(LTの場合)。

(3) ベルトラインを従来より低くし、フロントウイング、サイドウインドウを大きくとり、明るさと開放感を持たせると同時に、視界の良いスタイルとした。

(4) 室内は手ざわりの良さを重視するとともにライトブラウン、ブルー、ブラックの三色でカラーコーディネーションを行ない、高級感を持つ内装とした。

三、居住性・操作性の向上

(1) 居住性

① 室内長を一五mm(リフトバックは三〇mm)、室内幅を三〇mm、それぞれ拡大するとともに、三次曲面サイドウインドウガラスの採用等によりショルダー部分での室内幅を九〇mm拡大し、ゆとりある室内スペースとした。

② リフトバックはヘッドクリアランスを拡大し、定員を五名にするともに後部座席をゆとりあるものとした。また、リヤシートの背もたれ部分を左右分割式としてユーティリティスペースの拡大を図った。

③ 車室内に頭寒足熱の暖房を行なうバイレーベル機構のヒーターを全車型に採用したほか、ヒーターリヤダクトの採用車型を増やす(LT以上)など空調システムを改良した。またアストロベンチレーションを採用して車室内の通風、換気効率の向上を図った。さらにリフトバックについてはエアロピラー(通気口のあるセンターピラー)を採用し、後部座席の通風、換気効率の向上を図った。

④ フロントシートは肩を下げたロー・バックシートとし、さらに一部車型にはヘッドレスト分離式フロントシートを採用した(XT以上)。

⑤ 長時間運転の際の腰部の疲労軽減を図るため、運転席にランバー・サポートアジャスター付シートを一部車型に採用した(SE、GT、GTV)。

⑥ 足まわりについては、従来から定評のあるものを、さらに改良すると同時に、走行安定性をいっそう向上させるため、リヤスタビライザー

を一部車型に採用した（GT、GTV）。

(2) 操 作 性

- (1) ドライバーの体格・姿勢に応じて、より適切な位置で運転できるよう運転席の前部を上下に調整できる上下アジャスター付シートを一部車型に採用した（SE、GT、GTV）。
- (2) 無調整式クラッチレリーズシリンドラーを全車型に採用し、クラッチのメントナンスフリー化を図るとともにクラッチペダルの踏力を軽減した。
- (3) 低ギヤ比のステアリングギヤを一部車型に採用し、ハンドルの切れをシヤープにした（GT、GTV）。

(3) 静 肌 性

- (1) エンジンルームと室内の間の遮音材を増やし室内の静肃性を向上させた。

- (2) 高速走行中やエンジンの温度の低い時には、冷却ファンの回転数を少なくして騒音を低減する、温度制御型流体離手ファンの採用を拡大した。

(4) 装 備 の 充 実

- (1) 運転席から、トランクを開けることのできるトランクオープナーや、燃料注入口を開けることのできるフューエルリッドオープナーを一部車型に採用した（LT以上）。
- (2) 電動リモートコントロール式フェンダーミラーを一部車型に採用した（SE、GT）。
- (3) 水晶時計を一部車型に採用した（LT以上）。
- (4) 上方からの強い日差しを和らげるフロントぼかしガラスを一部車型に採用した（SE、GT）。
- (5) 風切音やラジオノイズを軽減するために、リヤウインドヴァンテナを採用した（ETはラジオをオプション設定）。
- (6) 燃料タンクを床下吊り下げ式にしてトランクスペースを大幅に拡大するとともに、燃料タンク容量を五八㍑から六一㍑にした。また、一部車型についてはトランクルームに内張りを施した（LT以上）。

三 排出ガス対策

- (1) 12T-IU型（一、五八八cc）エンジン搭載車一四車型（クーペ八車型、リフトバック六車型）をトヨタTGP燃焼方式により五十三年度排出ガス規制に適合させた。
- (2) 2T-IGEU型（一、五八八cc、DOHC、EFI+電子制御式燃料噴射装置+付）、3T-IU型（一、セセ〇cc）、18R-IU型（一、九六八cc）、

18 RIGU型（一九六八cc、DOHC）の各エンジン搭載車はトヨタ触媒方式により五十一年度排出ガス規制に適合させたものである。

四、安全対策

- (1) ウィンドウ面積を拡大して全方向により広い視界を確保した。
- (2) 前席にテンションレデューサー付ELRシートベルトを採用した。
ELRは通常の使用時は伸縮自在で束縛感が少なく、緊急時にのみロック機構が作動する装置であり、さらに装着時の束縛感をいつそう軽減するテンションレデューサーを附加したものである。
- (3) 間けつワイパー（LT以上）やサイドデフロスター（全車型）の採用により、雨天時の運転操作性および防曇機能を優れたものとした。またワイパー・ブレードからウィンドウウォッシャー液を噴出するウォッシャーノズル組み込み式ワイパー（全車型）やリヤワイパー（リフトバックのXT以上）を採用したほか、ワイパー部分に光の反射を防ぐ黒色塗装を施した。
- (4) 衝撃吸収能力の優れたウレタンバンパーを一部車型に採用した（GT、GTV）。
- (5) 四輪ディスクブレーキを一部車型に採用した（GT、GTV）。

五、省資源・省エネルギー対策

- (1) ボディ構造を含む各部の合理的な設計により、車両寸法の拡大にもかかわらず三〇kgから六五kg軽量化した。
- (2) 点火時期の最適々合、空燃比の精密制御などにより、12T1U型エンジン搭載車は優れた燃費性能を確保した。

◎ 排出ガスデータ（完成検査目標平均値・10モード）

[単位 g/km]

車種	搭載エンジン	総排気量cc	CO	HC	NOx
カリーナ 1600	12T-U	1,588	1.10	0.14	0.23
セリカ 1600					
53年度排出ガス規制平均値			2.10	0.25	0.25

車種	搭載エンジン	総排気量cc	CO	HC	NOx
カリーナ 1600	2T-G EU	1,588	0.33	0.15	0.55
セリカ 1600					
カリーナ 1800	3T-U	1,770	0.73	0.17	0.57
セリカ 1800					
カリーナ 2000	18R-U	1,968	1.14	0.15	0.58
セリカ 2000					
51年度排出ガス規制平均値			2.10	0.25	0.60

（等価慣性重量1t以下）

車種	搭載エンジン	総排気量cc	CO	HC	NOx
カリーナ 2000	18R-GU	1,968	0.65	0.15	0.81
セリカ 2000					
51年度排出ガス規制平均値			2.10	0.25	0.85

（等価慣性重量1t超）

◎ 燃 費

車種	搭載エンジン	総排気量 cc	10モード燃費 Km/ℓ		60km/h燃費 Km/ℓ
			運輸省審査値	運輸省届出値	
カリーナ 1600 セリカ 1600	12T-U	1,588	12.0	11.0~12.0	18.0~19.0
カリーナ 1600 セリカ 1600	2T-GEU	1,588	10.5	10.5	16.0
カリーナ 1800 セリカ 1800	3T-U	1,770	12.0	10.0~11.5	15.5~19.0
カリーナ 2000 セリカ 2000	18R-U	1,968	9.9	8.8~10.0	14.0~17.5
カリーナ 2000 セリカ 2000	18R-GU	1,968	8.2	8.4	16.0

◎ カリーナ車種体系

(65 車型)

車型	エンジン型式	総排気量	グレード	トランミッション		
				4段フロア	5段フロア	3速フロア オートマチック
2ドアセダン	12T-U	1,588cc	スタンダード	○		
			デラックス	○		
			スーパー・デラックス	○		
4ドアセダン	12T-U	1,588	スタンダード	○		
			デラックス	○	○	
			スーパー・デラックス	○	○	
			S T		○	
	3T-U	1,770	デラックス	○	○	○
			スーパー・デラックス	○	○	○
			S T		○	○
			S E	○	○	○
	18R-U	1,968	スーパー・デラックス	○	○	○
			S T		○	○
			S E	○	○	○
2T-GEU	1,588	G T		○		
18R-GU	1,968	G T		○		

車型	エンジン型式	総排気量	グレード	トランミッション		
				4段フロア	5段フロア	3速フロア オートマチック
ハードトップ	12T-U	1,588cc	デラックス	○	○	
			スーパー・デラックス	○	○	
			S T		○	
			S R		○	
			デラックス	○	○	○
	3T-U	1,770	スーパー・デラックス	○	○	○
			S T		○	○
			S R		○	
			S E	○	○	○
			スーパー・デラックス	○	○	○
バン	18R-U	1,968	S T		○	○
			S E	○	○	○
	2T-GEU	1,588	G T		○	
			18R-GU	GT		○
バン	T-J	1,407	スタンダード	○		
			デラックス	○	○	
	2T-J	1,588	デラックス	○	○	
			スーパー・デラックス	○	○	

◎ セリカ車種体系

(64 車型)

車型	エンジン型式	総排気量	グレード	トランスマッション		
				4段フロア	5段フロア	3速フロア オートマチック
クーペ	12T-U	1,588cc	E T	○	○	
			L T	○	○	
			S T	○	○	
			X T	○	○	
	3T-U	1,770	L T	○	○	○
			S T	○	○	○
			X T	○	○	○
			S E	○	○	○
	18R-U	1,968	S T	○	○	○
			X T	○	○	○
			S E	○	○	○
GT-GEU	2T-GEU	1,588	G T V		○	
			G T		○	
GT-GU	18R-GU	1,968	G T V		○	
			G T		○	

車型	エンジン型式	総排気量	グレード	トランスマッション		
				4段フロア	5段フロア	3速フロア オートマチック
リフトバック	12T-U	1,588cc	L T	○	○	
			S T	○	○	
			X T	○	○	
			L T	○	○	○
	3T-U	1,770	S T	○	○	○
			X T	○	○	○
			S E	○	○	○
			S T	○	○	○
	18R-U	1,968	X T	○	○	○
			S E	○	○	○
			G T V		○	
	2T-GEU	1,588	G T		○	
			G T V		○	
			G T		○	
18R-GU	18R-GU	1,968	G T V		○	
			G T		○	

◎ カリーナ・セリカ主要車種標準価格一覧表

(スペアタイヤ・標準工具一式付 単位 千円)

車種	グレード	トランスマッキン	型式	東京	名古屋	大阪	
カリーナ	2ドアセダン	1600 スタンダード	4段フロア	E-TA41-ADKRS	845	840	845
		1600 デラックス	4段フロア	E-TA41-AEKDS	923	918	923
		1600 S T	5段フロア	E-TA41-AEMSS	1,026	1,021	1,026
		1800 スーパーデラックス	4段フロア	B-TA42-AEKFS	1,024	1,019	1,024
	4ドアセダン	1800 S E	4段フロア	B-TA42-AEKES	1,143	1,138	1,143
		2000 S E	4段フロア	B-RA40-AEKES	1,168	1,163	1,168
		1600 G T	5段フロア	B-TA40-AEMQF	1,362	1,357	1,362
		2000 G T	5段フロア	C-RA40-AEMQG	1,472	1,467	1,472
	ハードトップ	1600 デラックス	4段フロア	E-TA41-ASKDS	958	953	958
		1600 S R	5段フロア	E-TA41-ASMXS	1,061	1,056	1,061
		1800 スーパーデラックス	4段フロア	B-TA42-ASKFS	1,059	1,054	1,059
		1800 S T	5段フロア	B-TA42-ASMSS	1,124	1,119	1,124
		2000 S E	4段フロア	B-RA40-ASKES	1,203	1,198	1,203
		1600 G T	5段フロア	B-TA40-ASMQF	1,397	1,392	1,397
	バン	2000 G T	5段フロア	C-RA40-ASMQG	1,507	1,502	1,507
		1400 デラックス	4段フロア	H-TA16V-AXKDS	790	784	790
		1600 デラックス	4段フロア	H-TA19V-AXKDS	820	814	820
セリカ	クーペ	1600 L T	4段フロア	E-TA41-BCKDS	1,045	1,040	1,045
		1600 X T	4段フロア	E-TA41-BCKMS	1,130	1,125	1,130
		1800 S T	4段フロア	B-TA42-BCKSS	1,082	1,077	1,082
		1800 S E	4段フロア	B-TA42-BCKES	1,223	1,218	1,223
		2000 X T	4段フロア	B-RA40-BCKMS	1,157	1,152	1,157
		1600 G T V	5段フロア	B-TA40-BCMXF	1,419	1,414	1,419
		1600 G T	5段フロア	B-TA40-BCMQF	1,467	1,462	1,467
		2000 S E	4段フロア	B-RA40-BCKES	1,248	1,243	1,248
		2000 G T	5段フロア	C-RA40-BCMQG	1,577	1,572	1,577
	リフトバック	1600 L T	4段フロア	E-TA41-BLKDS	1,125	1,120	1,125
		1600 X T	4段フロア	E-TA41-BLKMS	1,226	1,221	1,226
		1800 S T	4段フロア	B-TA42-BLKSS	1,162	1,157	1,162
		1800 S E	4段フロア	B-TA42-BLKES	1,319	1,314	1,319
		2000 X T	4段フロア	B-RA40-BLKMS	1,253	1,248	1,253

◎ 主要諸元一覧 (1) カリーナ ① 乗用車

通常運送車両法による新型車両出荷数値。燃料消費率：6.0km/h時、定速走行テスト値による

規格	2000 シリーズ						GT シリーズ					
	4ドアセダン			ハードトップ			4ドアセダン			ハードトップ		
データタイプ	SE	ST	スーパークラス	SE	ST	スーパークラス	2000GT	1600GT	2000GT	1600GT		
グレード	S E	S T	スーパークラス	B-RA40-AEKS	B-RA40-AEKS	B-RA40-ASKS						
ミッション	(X)											
トランスミッション (M)	B-PA40-AEMS	B-PA40-AEMS	B-RA40-AEMS	B-RA40-ASMS	B-RA40-ASMS	B-RA40-ASMS	C-PA40-AEMG	B-RA40-AEMG	C-RA40-ASMG	B-RA40-ASMG		
トランスミッション (S)	B-PA40-AEKS	B-PA40-AEKS	B-RA40-AEKS	B-RA40-ASHS	B-RA40-ASHS	B-RA40-ASHS						
車両重量・定員												
車両重量 kg	(990)(995) 990	(990)(995) 990	(985)(990) 995	(995)(1,000) 995	(995)(990) 990	(990)(995) 990	1,030	980	1,035	985		
車両重量 kg	(1,265)(1,270) (1,265)	(1,265)(1,260) (1,260)	(1,260)(1,265) (1,260)	(1,270)(1,275) (1,270)	(1,270)(1,265) (1,265)	(1,270)(1,270) (1,265)	1,105	1,255	1,110	1,210		
乗車定員人	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		
動作性能												
最高機力 tanθ (0.54)(0.51) (0.48)	(0.51)(0.48) (0.48)	(0.51)(0.51) (0.48)	(0.51)(0.51) (0.48)	(0.51)(0.48) (0.48)	(0.51)(0.48) (0.48)	(0.51)(0.48) (0.48)	0.61	0.55	0.61	0.55		
最小回転半径 m	5.0(車体5.4)	5.0(車体5.4)	5.0(車体5.4)	5.0(車体5.4)	5.0(車体5.4)	5.0(車体5.4)						
燃料消費率 kg/t	(16.5)(17.5)(14.0)	(16.5)(17.5)(14.0)	(16.5)(17.5)(14.0)	(16.5)(17.5)(14.0)	(16.5)(17.5)(14.0)	(16.5)(17.5)(14.0)	16.0	19.0	16.0	19.0		
エンジン												
型式	18R-U	18R-U	18R-GU	2T-GEU	18R-GU	2T-GEU						
内径×行程 mm	88.5×86.0	88.5×86.0	88.5×80.0	88.5×80.0	85.0×70.0	88.5×80.0	85.0×70.0					
吸気量 cc	1,968	1,968	1,958	1,588	1,588	1,465	1,588					
圧縮比	8.5	8.5	8.3	8.4	8.3	8.4	8.4					
最高出力 PS/r.p.m.	100.5/5,500	100.5/5,500	100.5/5,500	130/5,800	110.6/6,000	130/5,800	110.6/6,000					
最大トルク kg-m/r.p.m.	15.5/3,600	15.5/3,600	17.0/4,400	14.5/4,800	17.0/4,400	14.5/4,800						
燃料供給装置	ツーバレルシングル	ツーバレルシングル	ソレックスツイイン	E.F.I	ソレックスツイイン	E.F.I						
燃費 (g/km)	ガソリン・6L	ガソリン・6L	ガソリン・6L	ガソリン・6L	ガソリン・6L	ガソリン・6L						
動力伝達装置												
実測比第1速	(3.579)(2.817) (2.450)	(3.287)(2.450)	(3.579)(2.897) (2.450)	(3.579)(3.287) (2.450)	(3.287)(2.450)	(3.579)(3.287) (2.450)	3.525	3.587	3.525	3.587		
第2速	(2.081)(2.047) (2.450)	(2.081)(2.047) (2.450)	(2.081)(2.047) (2.450)	(2.081)(2.047) (2.450)	(2.081)(2.047) (2.450)	(2.081)(2.047) (2.450)	2.054	2.022	2.054	2.022		
第3速	(1.394)(1.394) (1.000)	(1.394)(1.394) (1.000)	(1.394)(1.394) (1.000)	(1.394)(1.394) (1.000)	(1.394)(1.394) (1.000)	(1.394)(1.394) (1.000)	1.326	1.384	1.326	1.384		
第4速	(1.000)(1.000) (1.000)	(1.000)(1.000) (1.000)	(1.000)(1.000) (1.000)	(1.000)(1.000) (1.000)	(1.000)(1.000) (1.000)	(1.000)(1.000) (1.000)	1.000	1.000	1.000	1.000		
第5速	(1.053)(1.053) (1.000)	(1.053)(1.053) (1.000)	(1.053)(1.053) (1.000)	(1.053)(1.053) (1.000)	(1.053)(1.053) (1.000)	(1.053)(1.053) (1.000)	0.858	0.861	0.858	0.861		
後退	(4.399)(4.099) (2.222)	(4.039)(2.222)	(4.399)(4.099) (2.222)	(4.399)(4.099) (2.222)	(4.399)(4.099) (2.222)	(4.399)(4.099) (2.222)	3.755	3.484	3.755	3.484		
最終減速比	(3.221)(3.009) (3.009)	(3.009)(3.009)	(3.221)(3.009) (3.009)	(3.221)(3.009) (3.009)	(3.221)(3.009) (3.009)	(3.221)(3.009) (3.009)	3.909	4.100	3.909	4.100		
走行・駆動装置												
ステアリング方式・油圧比	ボールナット式 19.0~22.5	ボールナット式 19.0~22.5	ボールナット式 17.5~20.5	ボールナット式 17.5~20.5	ボールナット式 19.0~22.5	ボールナット式 17.5~20.5						
ブレーキ方式 (前/後)	リニアブレーキ (前) リニアブレーキ (後)											
サスペンション (前/後)	マクファーソンストラット式コイルスプリング (前) マクファーソンストラット式コイルスプリング (後)											
タイヤ (前/後)	165SR13	6.45-13-4PR	165SR13	6.45-13-4PR	165/70R13	165/70R13	165/70R13	165/70R13	165/70R13	165/70R13		

車種	1400		1600	
	テラックス	スタンダード	スーパークラックス	テラックス
車型 (4ドアクーペ) ドア (フロント)	H-TA16V-AXKDS	H-TA16V-AXKTS	H-TA19V-AXKFS	H-TA19V-AXKDS
ドア (リア) (フロント)	H-TA16V-AXMDS	H-TA16V-AXMFS	H-TA19V-AXMFS	H-TA19V-AXMDS
寸法・諸元				
全長 mm	4,250		4,270	4,270
全幅 mm	1,630		1,630	1,630
全高 mm	1,425		1,425	1,425
ホイールベース mm	2,495		2,495	2,495
トレッド (前)	1,335		1,335	1,335
・ (後)	1,320		1,320	1,320
最低地上高 mm	170		170	170
荷重全般 kg	1,185 (950)		1,185 (950)	1,185 (950)
・ 全般 mm	1,300 (1,305)		1,300 (1,305)	1,300 (1,305)
多段定数	2(S)		2(S)	2(S)
車両整備量 kg	1,550 (1,525)	1,555 (1,520)	1,555 (1,520)	1,560 (1,525)
最大積載量 kg	500 (300)	500 (300)	500 (300)	500 (300)
乗員定員	5	5	5	5
性能				
最高速度 km/h	0.33		0.38	0.38
最高出力 kW	5.0 (車体45.4)		5.0 (車体45.4)	5.0 (車体45.4)
燃費 (km/L)	(17.0)(18.0)		(17.0)(18.0)	(17.0)(18.0)
エンジン				
型式	4 気筒直列OHV T-J		4 気筒直列OHV T-J	
内径×行程 mm	80.0×70.0		80.0×70.0	
排氣量 cc	1,407		1,407	1,407
圧縮比	8.5		8.5	8.5
最高出力 PS/r.p.m.	80.6,000		80.6,000	
最大トルク kg-m/r.p.m.	11.3/3,800		11.3/3,800	
燃料・燃料タンク	ガソリン・55		ガソリン・55	
バッテリー	V-AH		12-35	12-35
オルタネーター	V-A		12-45	12-45
スターター	V-KW		12-0.8	12-0.8
動力伝達装置				
クラッチ	乾燥摩擦タイヤグラム式		乾燥摩擦タイヤグラム式	
変速比	第1速 (3.587)(3.587)		3.587	<3.587/(3.587)
" 第2速	(2.022)(2.022)		2.022	(2.022)/(2.022)
" 第3速	(1.384)(1.384)		1.384	(1.384)/(1.384)
" 第4速	(1.000)(1.000)		1.000	(1.000)/(1.000)
" 第5速	<->(0.861)		-	<->(0.861)
" 後退	3.484		3.484	
減速歯車形式	ハイポイド		ハイポイド	
減速歯車	4.300		4.100	
走行・駆動装置				
ステアリング形式・油圧比	ボールナット式 3.0~22.5		ボールナット式 19.0~22.5	
車輪形式 (前)・(後)	ボールジョイント式 (前)・半浮動輪式 (後)		ボールジョイント式 (前)・半浮動輪式 (後)	
サスペンション (前)・(後)	マクファーソンストラット式コイルスプリング (前)・半精円板ねね (後)		マクファーソンストラット式コイルスプリング (前)・半精円板ねね (後)	
ブレーキ (前)	リニアブレーキ		ディスク	リニアブレーキ
リニアブレーキトーリング				
タイヤ (前/後)	5.50-13-8 PR		5.50-13-8 PR	

諸路満足度により新型車両の燃費は60km/h時、定地走行テスト値による。()内の数値は走行時。

(2) セリカ (1) ク一ペ

音楽を楽しむための新しい形態の音楽体験を提供する「音楽アーティストによる、アーティスト自身による」の新感覚音楽体験。

② リフトバック